

## EMT981 再生系の再構成(14)

### －ハイドンを聴く(5)－

#### 1. はじめに

前報(3)において EMT981 から Truphase を経て 300B アンプまでのバランス伝送が実現した機会に、手持ちの CD を聴き直していくことにしました。今回も、しばらく聴いていないハイドンの作品を聴いていきます。

#### 2. EMT981 の試聴方法

今回、Autograph MINI での試聴を行います。

EMT981 の再生では、前報(7)と同様に前報(2)の再生ルートとします。

EMT981(\*)→TruPhase→.300B

\* : GPS-777 より CCD-6 経由でクロック入力

古い録音で定位などに違和感が感じられるときは TruPhase で位相を反転します。

再生する CD はハイドンの弦楽四重奏曲です。

DENON COCO-78973

ハイドン 弦楽四重奏曲作品 51<十字架上のキリストの最後の七つの言葉>  
クイケン四重奏団

MDG 307 1585-2

ハイドン 弦楽四重奏曲作品 50 1/4/5  
ライブチッヒ弦楽四重奏団

#### 3. EMT981 の試聴結果

クイケン四重奏団盤は、1994 年の録音で、弦楽四重奏曲となっていますが、テーマは宗教曲のようなもので、しみじみとした表情を漂わせる曲です。恐らくはガット弦でヴィブラートも控えめで、ピチカートも含めてしっとりした演奏です。しかしながら、最後の章は地震という副題がついているようにドラマティックな演奏で締めくくられます。

ライブチッヒ弦楽四重奏団盤は、2009 年の発売で、ゆったりと歌わせたり、快活に歌わせたりと伸び伸びとした演奏です。

#### 4. まとめ

クロック入力した EMT981 からのバランス接続の効果で、二つの盤ともデジタル臭さを感じない音が楽しめます。

以上